

平成 29 年度 公益財団法人静岡県文化財団事業計画

I 基本方針

静岡県文化財団は、県の「ふじのくに文化振興基本計画」を踏まえて、グランシップの指定管理事業を適切に実施し、各種文化振興事業を推進してきた。

平成 29 年度は、第 4 期（平成 29～33 年度）グランシップ指定管理業務の初年度であり、「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がり」と広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」を四本の柱として事業を展開する。

1 上質で多彩をより身近に

- ・県と一体となって、文化芸術の振興 一本県の文化の創造、発展、普及一 を図るため、現代舞台芸術と伝統芸能を二本柱に「上質」で「多彩」な公演事業をグランシップを中心として、より身近な場所で展開する。
- ・「ふじのくに文化情報センター」に文化財団が有する助成等の文化支援機能を集約し、県民の文化芸術活動への積極的な支援を進める。

2 県民との繋がり」と広域的な協働・交流

- ・静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター（SPAC）を縦糸に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横糸に、連携の強化を図る。
- ・「音楽の広場」、「トレインフェスタ」などの県民参加型事業や静岡らしいオリジナル楽曲を創作する「N響室内楽シリーズ」の公演に取り組むなど、文化、芸術及び学術の振興を進めるにあたって、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラム推進の一翼を担う。
- ・県内における文化プログラムの拠点として、貸館においても積極的に文化プログラム関連催事の誘致に取り組む。
- ・県、静岡観光コンベンション協会、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携した首都圏の大規模コンベンションの共同誘致を行う。

3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ユニバーサルデザインに配慮した運営や故障個所の迅速な修繕、毎月の防災訓練の実施などにより、利用者にとって安全・安心・快適な施設運営に努める。
- ・安定的な収入の確保と経費の節減により、効率的・効果的な運営を図る。

4 働きやすい職場づくり

- ・契約職員の正規職員化や労働時間、育児休業制度の適切な管理に取り組み、仕事と生活の両立に努める。

II 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

複合施設としての特性を生かし、「現代舞台芸術」、「伝統芸能」、「文芸・美術」、「ふれあいイベント」のジャンルを中心に、これまで培ってきたリソースとネットワーク、そしてグランシップの特性を熟知した専門人材をフルに活用して4つの事業と新たなグランシップファンを獲得する取り組みを展開する。

特に、文化ホール機能の強化に重点を置き、次世代を担う若い世代や子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会の充実を図り、また、県民参画や地域の文化団体、市町の公立文化施設等との連携を含めた交流事業を積極的に推進する。

項 目	事業本数	入場参加者数
① 上質で多彩な鑑賞事業	20 本	15,650 人
② 誰もが参加できる県民参加型事業	17 本	98,920 人
③ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業	11 本	2,990 人
④ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業	13 本	10,510 人
合 計	61 本	128,070 人

① 上質で多彩な鑑賞事業

現代舞台芸術と伝統芸能を二本柱としたラインナップにより、バランスのとれた上質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会を提供する。

◎現代舞台芸術 (★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・こども (1,000 円) 設定公演)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	伝統の国と音 アントニオ・サンブージョ	7/7(金)	★☆	交流ホール	260	ポルトガルの伝統音楽の公演
2	グランシップ プレミアムジャズライブ 渡辺貞夫	8/31(木)	★☆	中ホール	850	一流ミュージシャンの共演で飾るジャズ公演
3	パリ管弦楽団プラス・クインテット ～パリのエスプリ	10/23(月)	★☆	中ホール	600	グランシップの主催事業として定着している管楽器アンサンブルの公演
4	ウラジミール・フレドセーエフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ	11/4(土)	★☆	中ホール	800	年一回実施する、海外一流オーケストラによる公演
5	小曾根真 feat. No Name Horses	12/15(金)	★☆	中ホール	700	クリスマス時期を飾る一流ミュージシャンによるジャズ公演
6	グランシップ&静響 ニューイヤークンサート(2公演)	1/12(金)	—	中ホール	1,530	静岡交響楽団との共催で開催するクラシック公演
7	ケイコ・リー グランシップ バレンタイン・ジャズ	2/10(土)	★☆	交流ホール	270	毎年恒例の時期開催のジャズ公演
8	N響室内楽シリーズ I	3/3(土)	★☆	中ホール	700	文化プログラムの一つとして実施するNHK交響楽団室内楽公演
9	音楽公演	2月	—	中ホール	700	未定
10	音楽公演	3月	—	交流ホール	150	未定
11	グランシップ世界のこども劇場 2017(海外招聘)	8/3(木)～ 8/5(土)	—	中ホール等	1,400	文化プログラムとして実施する世界の劇団による児童演劇
12	同(国内作品)子供のためのシェイクスピア	7/30(日)	★☆	中ホール	370	子供のためのシェイクスピア『リア王』の公演

◎伝統芸能（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
13	【伝統芸能シリーズ】 人形浄瑠璃 文楽	10/7(土)	★☆	中ホール	1,100	文楽協会による人形浄瑠璃公演 演目：桂川連理 柵（かつらがわれんりのしがらみ）、曾根崎心中
14	グランシップ寄席①	10月	★☆	交流ホール	260	季節やその他の催事と関連させた テーマによる良質な話芸の公演
15	グランシップ寄席②	3/16(金)	★☆	交流ホール	260	
16	【伝統芸能シリーズ】 静岡能	1/27(土)	★☆	中ホール	760	宝生流能楽師による能楽公演

◎文芸・美術（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
17	グランシップ サポーター企画 懐 かしの映画会	10月	—	中ホール	260	文化庁及び国立近代美術館フィルムセンターと 連携して実施する名画の公開上映
18	グランシップ サポーター企画 懐 かしの映画会(洋画劇場)	11月	—	映像ホール	100	グランシップ サポーターの企画による洋画 DVDの上演
19	アートコンパ 2017	10月～2月	—	大ホール ショーウインドウ他	2,580	若手アーティストの発掘と活躍の場の提供と来場者にアート を身近に感じてもらうための作品コパ及び展示
20	グランシップ サポーター企画 撮 影サポーター写真展	未定	—	3階 共通ロビー	2,000	撮影サポーターが撮影したグランシップ 企 画事業の写真展

② 誰もが参加できる県民参加型事業

プロ・アマを問わず、障がいのある人も無い人も分け隔てなく、本県ゆかりのアーティストが参画する事業を拡充し、文化芸術活動のレベルアップとグランシップに親しみを感じてもらえる環境作りを進める。

◎現代舞台芸術（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	音楽の広場 2017	8/6(日)	★☆	大ホール	6,500	本県ゆかりの音楽家 600人による 大オーケストラ・合唱団等による県民参 加型のコンサート 指揮：広上淳一
2	ビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル 2017	8/13(日)	—	大ホール	1,350	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェス ティバル、
3	ジャズクリニック	7月、8月	—	リハール室他	150	ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル出演 者を対象としたジャズクリニック
4	【提携公演】 静岡フィルハーモニー管弦楽団 創立40周年記念演奏会	11/19(日)	—	大ホール	1,500	芸術団体に対する発表の場の提供
5	【提携公演】 静岡混声合唱団 TERRA 第11回演奏会	2/12 (月祝)	—	中ホール	800	
6	【提携公演】 TAKE HEART BEAT LIVE	3/4(日)	—		800	
7	【提携公演】 Chikara 2018 in Shizuoka	3/11(日)	—		800	

◎文芸・美術（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
8	Wonderful アート	9/16(土) ～10/1(日)	—	展示ギャラリー	3,000	県内の特別支援学校児童・生徒による作 品展「ウイズ・アート展」とNHKアート展を開催
9	Wonderful アートクラブ イベント	未定	—	リハール室等	300	障がいのある方や子どもから大人 まで一緒に参加できるワークショップ等
10	パフォーマンスアーツ(仮称)	未定	—	未定	200	障がいのある方も一緒に参加し作り上 げる、からだを使ったパフォーマンス公演

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
11	静岡の魅力第9回フォトコンテスト	(表彰式) 1/13(土) (作品展) 1/13(土) ～28(日)	—	(表彰式) 会議ホール (作品展) 展示ギャラリー	(表彰式・展示) 1,120	静岡県の写真文化の発展と振興、また、静岡県の魅力を全国に発信するフォトコンテストとその作品展示
12	静岡の魅力フォトコンテスト巡回展	5月～8月	—	県内大型ショッピングモール	24,000	フォトコンテストの周知を目的とした、過去受賞作品の巡回展示
13	高松宮妃おひなさま展	2/19(月) ～3/4(日)	—	展示ギャラリー	10,000	県立美術館所蔵の高松宮妃ゆかりのおひなさまの展示

◎ふれあいイベント (★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども (1,000円) 設定公演)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
14	こどものくに	5/4(木祝) ～5/7(日)	—	大ホールほか	16,300	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント、テーマは「形」
15	トレインフェスタ 2017	5/20(土) ～5/21(日)	—	全館	30,000	文化プログラムの一環として実施する、鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会など、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
16	冬のおくりもの 2017	11/18(土) ～12/25(月)	—	大ホール他	1,500	県民の賑わいを創出するためのクリスマスを盛り上げる館内装飾や展示・イベント
17	ふじのくに芸術祭春の祭典「受賞式・総合開会式」	2/18(日)	—	中ホール	300	ふじのくに芸術祭のメインイベントである「春の祭典受賞式・総合開会式」の実施(静岡県との共催)

③ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

市町の公立文化施設への出前公演や、他施設との共同事業を推進し、県内全域を見渡した事業展開を図るとともに、普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域の学校、施設等に文化芸術を届けるアウトリーチ活動をフットワークよく展開する。

◎出前公演 (★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども (1,000円) 設定公演)

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	世界の子ども劇場 2017	8/9(火)	—	掛川市美感ホール	230	「グランシップ」で開催される世界の劇団による児童演劇の出前公演
		8/10(水)	—	菊川文化会館アエル	210	
		8/13(金)	—	裾野市民文化会館	230	
2	しずおか連詩の会 2017 in 三島	11/12(日)	☆	大岡信ことば館	200	静岡ゆかりの詩人大岡信氏が提唱した連詩の創作、発表
3	詩人と語ろう！ ことばを語ろう！	未定	—	県内高校等	50	「しずおか連詩の会」に連動した詩人と交流するワークショップ
4	文楽事前講座	2/4(日)	☆	御殿場市民会館	170	御殿場市での「文楽」公演に連動した本公演のみどころを紹介する講演会
5	人形浄瑠璃 文楽	3/18(日)	★☆	御殿場市民会館	600	文楽協会による人形浄瑠璃公演 演目：桂川連理柵(かつらがわれんりのしがらみ)、曾根崎心中
6	0歳児から聞こう！ふれあいコンサート	2月	★	菊川文化会館アエル	350	0歳児とその家族が気軽に楽しめる音楽コンサート

◎アウトリーチ（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	会場	参加者	内容
7	登録アーティストアウトリーチ	9月～3月	小中学校、 特別支援学校等	350	グランシップ登録アーティストによる音楽公演を 県内小学校、特別学校にて実施
8	【アウトリーチ】ミニコンサート（2回）	9月～12月		100	音楽公演出演者による音楽公演を県内 小学校、特別学校にて実施
9	人形浄瑠璃「文楽」出前講座（2回）	7/13（木）、 7/14（金）	小中学校、 特別支援学校等	200	文楽協会の協力のもと、文楽講座を県内 小学校、特別学校にて実施
10	【アウトリーチ】六代目宝井馬琴 監修 講談教室（3回）	4月～3月		200	六代目宝井馬琴監修の講談教室を県内 小学校、特別学校にて実施
11	【アウトリーチ】連詩をつくろ う！ワークショップ（2回）	4月～3月	小中学校、高校等	100	連詩の会参加詩人による連詩の創作ワー クショップを県内小中学校、高校にて実施

④ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

これまでグランシップの事業に興味、関心をもっていたけなかつた人たちに、文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらえる事業を推進する。

◎現代舞台芸術（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
1	合唱ワークショップ～歌のマイコー ーランド～（2回）	5/4（木祝）	—	中ホール	1,500	体を動かしながら子どもから大人 まで楽しめるワークショップ
2	第37回静岡県学生音楽コンク ール2017（本選）	8/20（日）	—	中ホール等	1,000	県内学生による音楽コンクール
3	日露交歓コンサート 2017（仮）	9/28（木）	—	中ホール	700	日本とロシアの音楽交流による音 楽公演
4	オーケストラ塾	未定	—	交流ホール	210	オーケストラ公演をより楽しめるよう に解説する事前レクチャー
5	中学生のための音楽会	1/23（火） 1/24（水）	—	中ホール	3,760	県内中学生を招待し、上質な音 楽芸術を体験させるクラシックコンサート 出演：大阪フィルハーモニー交響楽団
6	ジャズ講座	未定	—	交流ホール	150	ジャズをより深く楽しむためのレ クチャー

◎伝統芸能（★中高生鑑賞対象公演、 ☆学生・子ども（1,000円）設定公演）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内容
7	伝統芸能事前講座	未定	—	交流ホール	200	グランシップ 伝統芸能シリーズの各公 演に先立ち伝統芸能への知識 を深める事前講座
8	【伝統芸能シリーズ】 国立劇場歌舞伎鑑賞教室	6/26（月）	★☆	中ホール	1,200	国立劇場の出張公演。演目： 「毛抜（けぬき）」他
9	文楽事前講座	8/29（火）	—	交流ホール	150	「文楽」公演に連動した本公演 のみどころを紹介する講演会
10	【伝統芸能シリーズ】 静岡能 能楽入門公演	9/23（土祝）	★	中ホール	1,100	初心者向けの能楽公演 出演：宝生流能楽師
11	伝統芸能普及プログラム （能楽）	4月～3月	—	県内小中学校、 高校、大学等	180	文化施設での伝統芸能ワークショッ プ、学校公演、大学出張講座等
12	伝統芸能普及プログラム （文楽）				180	
13	伝統芸能普及プログラム （歌舞伎）				180	

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

テーマ性を持った広報計画を立て、対象に合わせた媒体を利用しながらグランシップ企画事業を宣伝するとともに、文化普及を目的とした広報に努める。

イ 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信するツールとして、SNS やネットを活用し、従来の事業に関心を持ってもらう取り組みと併せ、新たな鑑賞者層の獲得に取り組む。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、各公演の学生チケット料金（28 歳以下の大学生、子ども）を原則 1,000 円で設定する。

また、中学校、高校で学校行事・クラスや部活動等で先生が引率する場合には、チケット料金を 800 円に割引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援する。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アートラリー事業」により、鑑賞機会の増加を推進する。

エ 県外への広報

トレインフェスタ、音楽の広場など、オリジナル性が高く静岡県らしい事業を、首都圏などで PR し、事業の認知度を高める。

(2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」を推進する中核的存在となるよう、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」（平成 27 年 4 月開設）の機能強化を図るとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組む。

① ふじのくに文化情報センター

助成、顕彰等、文化支援の取り組みを文化情報センターに集約し、助成活動を核にネットワークづくりを進め、文化芸術活動を支える基盤づくりにつなげる。なお、文化情報センターの活動方針、計画等、運営に関して運営委員会を設置し、助言指導を受けながら進めていく。

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

文化芸術活動に取り組む人や県民に利用しやすいサイトを目指し、県内の文化芸術催事情報の登録をしやすくする。また情報誌「GRANSHIP」に情報を一元的に集約し、発信機能を強める。

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営し、相談事例は積極的にホームページで公開する。

ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「こかげのまなびば」（月 2 回）と「ふじのくに文化情報フォーラム」（平成 30 年 3 月）の充実を図るとともに、文化芸術活動の社会性を考える学術、文化をテーマとした「グランシップ文化講座」（2 講座）を開催する。また、新たにアートマネジメントをテーマに、静岡文化芸術大学と連携した講座を開設する。

エ 文化活動団体の顕彰

県内の文化活動を発展、振興していくため、文化団体に助成（ふじのくに文化プログラム推進事業助成）するとともに、新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰

する。なお、本県の文化芸術の魅力を掘り起こして発信する書籍の発行に引き続き取り組む。

項目	内容
募集期間	平成 29 年 8 月～9 月
対象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献し、県内に活動の本拠を置く文化団体
選考	地域文化活動賞選考委員会
賞	地域文化活動賞 1 件 賞金 10 万円、賞状、楯 地域文化活動奨励賞、努力賞 若干 賞状、楯 *表彰式は「ふじのくに文化情報フォーラム」と同日に開催

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに係る教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「アートマネジメントセミナー」や大学生を対象としたインターンシップ等を実施する。

また、実演による文化芸術を県内各地へ提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、各地域の公立文化施設と連携しながら音楽アウトリーチを実施する。

	アートマネジメントセミナー	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ
対象	県内の公立文化施設職員	県内小学校、特別支援学校生徒等	大学生
期間	平成 29 年 6 月～ 平成 30 年 3 月	平成 29 年 5 月～ 平成 30 年 3 月	平成 29 年 6 月～10 月
募集人員	10 人程度	未定	未定

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップオリジナル文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「Wonderful アート」を文化プログラムに相応しい内容で実施する。また、音楽ジャンルのうち「N響室内楽シリーズ」では、静岡らしいグランシップのオリジナル楽曲の創作に取り組む。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携を密にして、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努める。

県内における文化プログラムの拠点として、提携公演や期間外予約などの制度を活用して、貸館においても積極的に文化プログラム関連の催事の誘致に取り組む。

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し、県内外に発信するため、文化団体に対して助成する。

項目	内 容		
メニュー	事業補助	団体補助	
		「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	①住民参加型芸術文化事業 ②広域的芸術文化事業 ③国際文化交流事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	複数年度 (原則3年、5年が限度)	複数年度 (原則3年、5年が限度)
補助額	上限30万円 (自己負担額1/3以内)	上限30万円 翌年度以降逡減	上限30万円 翌年度以降逡減
募集	年1回		
審査方法	書類審査	書類及び対面審査	
審査員	有識者及び財団役員等		

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、文化プログラムの推進につなげ、県民の共有財産として、後世に伝えていくため、書籍2冊を発行する。

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進の一環として、次世代を担う県内の中高生に上質で多彩な文化芸術に触れてもらうため、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援する。

2 グランシップ管理運営事業

(1) 貸館

静岡県における文化学術振興と交流促進のためのコンベンション施設として、公共性と収益性のバランスを確保しつつ「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーに利用者満足度を高め、施設の利用促進を図る。

区 分	内 容
施設の貸出	・ 条例に基づく適正な施設の貸出 ・ スマートフォンに対応した会議室予約システムの運営 ・ 備品等の更新
貸館情報の提供	・ ホームページ、情報誌 GRANSHIP を活用した情報の提供
利用者ニーズの把握	・ 催事終了後のアンケートの実施

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、利用者会議を開催するとともに全ての利用者に対してアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応する。

また、催事開催支援サービス（ワンストップサービス）の定着を踏まえ、利用者ニーズを把握してサービスメニューの拡充に努める。

② 積極的な営業活動

貸館の優先予約制度を活用し、柔軟に予約を受け入れ、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致する。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、ふじのくに芸術祭のイベントを誘致するほか、県内企業等を直接訪問するなど、積極的な営業活動に取り組む。

③ 大規模催事の誘致

国際ミーティング・エキスポ(IME)に出展し、大規模催事に関する広報・商談・情報収集を行うとともに、学会や全国大会の主催者や企画・運営企業などに対して、定期的な情報収集や営業活動に取り組む。

また、県や市町、静岡観光コンベンション協会、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に地方へ流出する首都圏の大規模コンベンションの共同誘致に取り組む。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

すべての来館者にとって安全な施設であるとともに、安心して快適な空間であるよう、施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して、計画的な修繕・更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努め、適切に管理する。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、常に来館者の目線での施設運用の見直しに努める。また毎月実施する防災訓練の中で、さまざまな来館者に対応するための研修を実施する。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

④ 駐車場管理、自動販売機等管理

利用者へのサービス向上を図るため、円滑な駐車場運営ができるよう、委託業者と連携して適切な維持管理を行う。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置、管理する。なお、駐車場の24時間営業と利用料金の上限（1,400円/日）制度を継続し、施設利用者以外による駐車場利用の促進を図る。

(3) サポート組織

県内の文化振興に関心があり、活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図る。

(平成29年4月1日見込)

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、ポスター・チラシの館外での掲出・配架、来館者見学案内等	68人
イ ベ ン ト	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	72人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	17人
託 児	公演時の託児サービス等	7人
文化情報運営	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」におけるコンテンツの企画・運営等	19人
計	※ 兼務含む	183人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

『火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応』を危機管理、また『前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応』をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努める。

① 危機管理

発災時の迅速な初動態勢の確立のため、自衛消防隊の事前編成や防災訓練を毎月実施する。

② リスクマネジメント

故障による機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行う。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行い、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受ける。

3 グランシップ友の会

(1) 個人会員

入会して長期間利用がない会員の適切な管理をしながら、引き続き、目標会員数1万人達成のための勧誘に取り組む。

(2) 法人会員

各法人会員に担当を割り振り、定期的に訪問させることにより、グランシップに対する理解を深めてもらう。

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、ブログやモニター等の双方向性のある手段を世代に合わせて組み合わせ、情報発信に取り組む。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、効果的・効率的な情報発信に取り組む。なお、一方的な広報・宣伝だけでなく、県民の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などにより県民ニーズの把握に努める。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等の新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に引き続き取り組む。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、36P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演毎に作成）
- ・ホームページ、メールマガジン、ブログ、フェイスブック等のインターネット系
- ・年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年1回発行）
- ・財団アニュアルレポート

【広告】

- ・新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ラジオ広告（SBSラジオ、K-MIX、コミュニティFM）
- ・交通広告（JR東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・グランシップ企画事業のモニター制度（10人、公演鑑賞によるアンケート実施と年4回のモニター会議）
- ・貸館利用者による利用者会議（年1回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化

平成 28 年度に実施した正規職員への登用試験に合格した有期雇用契約職員 14 人を正規職員として登用する。今後も勤続年数 3 年を満たした有期雇用契約職員を対象に登用試験を行う。

イ 専門的人材の育成

外部専門研修の受講を推奨し、職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保していく。特に、平成 29 年度から正規職員に登用される職員については、安定的な雇用を保証したことから、職員本人の自己啓発に基づく能力向上を推奨する。

休館日に内部職員研修を実施し、国や県の文化政策の状況、指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況、県立文化施設や市町公立文化施設、地域の団体等との連携状況などの情報の共有化を図る。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対しては、特別昇給及び特別研修（職員自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にしたい施設等を自由に選び計画したものに対し、財団が費用負担する）を実施する。

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の管理、時間外勤務の事前申請の徹底等による労働時間の適切な管理を行う。

各々の職員が労働時間を自己管理し、生産性の高い業務に取り組むよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を図る。

イ 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの導入を図る。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

育児・介護休業等に関する規程に基づき、休業制度を適切に運用する。

(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、文化庁の国庫補助金の獲得と厚生労働省の各種助成金の活用を図る。

また、毎月、月次決算を実施するとともに、上半期終了時には中間決算を実施することにより、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持する。

(4) 組織体制

